

- 甚大な被害をもたらした平成20年下新川海岸高波災害から10年。時間の流れとともに薄れがちな災害の記憶を思い返し、その経験・教訓を次世代へ語り次ぐための「語り部の会」を開催しました。
- 約180名の参加者のもと、「災害を振り返る」上映にはじまり、高校生や地元建設会社による当時の記憶の振り返り、当時対応された語り部4名を含めたパネルディスカッションなどを行いました。

開催概要

- 日時 | 平成30年11月11日(日) 13:00~15:30
- 会場 | 入善町消防防災センター (入善町上野571)
- 主催 | 下新川海岸水防連絡会
- 参加者数 | 約180名
- 開催内容 |

- ・上映 「災害を振り返る」
- ・H20.2.24高波 被災状況及び対応状況

山田 義仁 黒部河川事務所 工務課長

・体験発表

小学生での記憶

青木 颯良さん 富山県立桜井高等学校 土木科3年

応急対応の記憶

大川 浩幸さん 共和土木(株) 土木部 課長

寄り回り波を振り返って

司会朗読 (朝日町在住の方の投稿文)

・パネルディスカッション

「あの時の経験とこれからの備え」

<コディネーター>

福濱 方哉 富山河川国道事務所 課長

<語り部>

島倉 与志貴さん 入善町在住 新酒 善彦さん 黒部市在住

大井 光男さん 朝日町在住 神子沢 喜彦さん 入善町参事

<コメンテーター>

川口 歳則 富山県立山土木事務所 所長代理

古本 一司 黒部河川事務所 課長

・パネル展示 (高波災害を振り返る)



体験発表
小学生での記憶を語る青木さん



体験発表
応急対応の記憶を語る大川さん



体験発表に聞き入る参加者



語り部4名を含めた7名によるパネルディスカッション
当時の波の様子や対応状況などを語る語り部のみなさん



寄り回り波のしくみを説明する福濱コディネーター

参加した方からの感想 (アンケート結果より抜粋)

人生58年間に、2度の寄り回り波を経験しており、これが風化されないよう後世に伝えていくべきである。

当時、被災者でした。各々の立場で復興に努力いただいたことにあらためて感謝いたします。私は被災した日を防災グッズ等点検の日とし、災害を考える日としていますが、引き続き気をひきしめていきたいと思いました。



入善町梅津副町長による開会挨拶



「高波災害を振り返る」パネル展示に見入る参加者